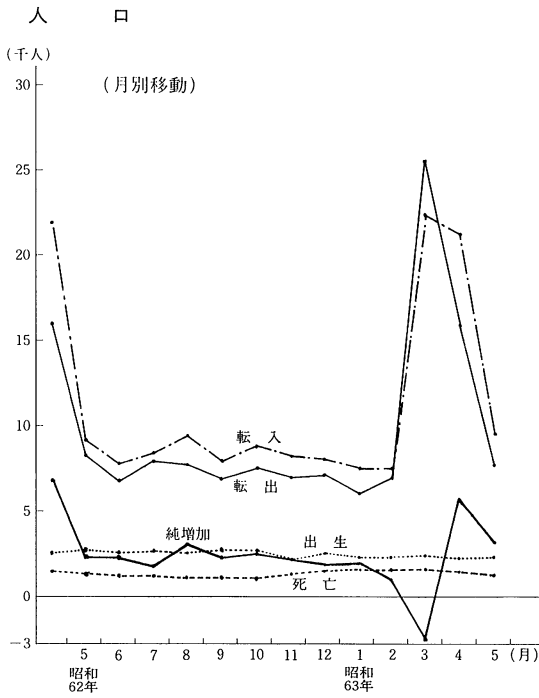
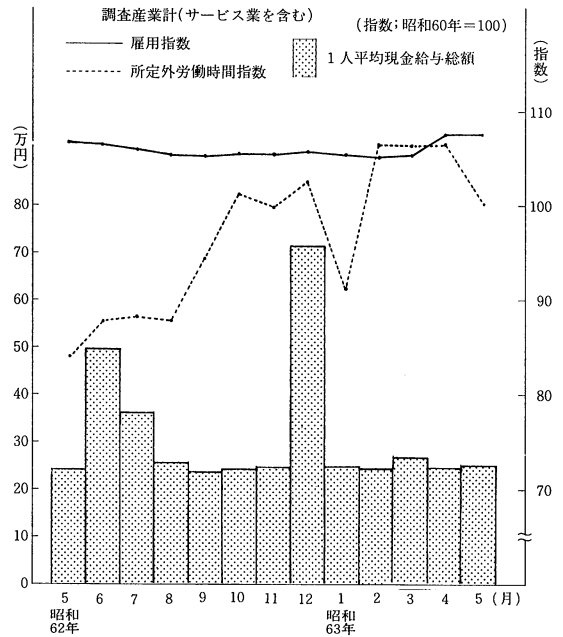


● 今月の主な動き

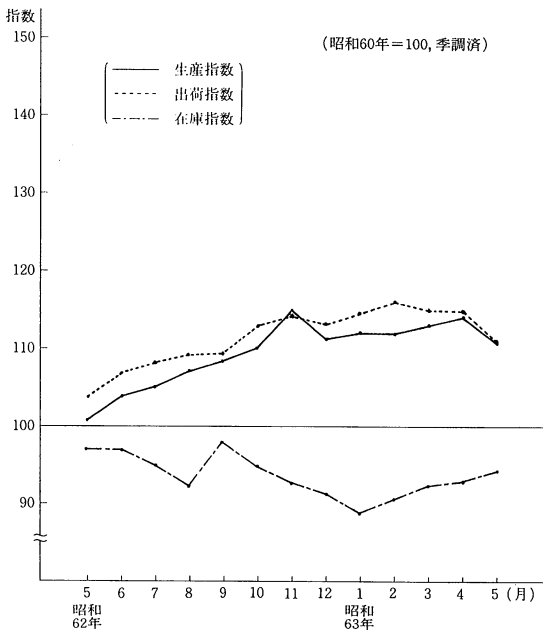
# 今月の主な動き



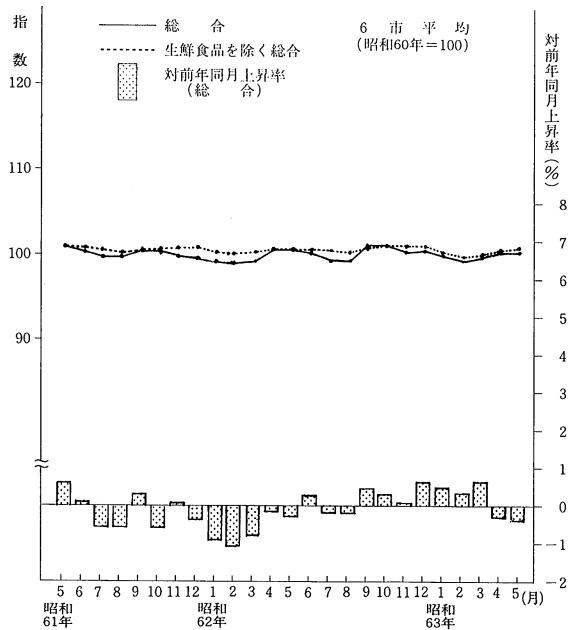
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■ 人 口 (6月1日)

本県の人口は、5月中に3,032人増加し、6月1日現在で2,786,326人(男1,388,681人,女1,397,645人)となった。

内訳は、自然動態で1,093人(出生2,582人,死亡1,489人)、社会動態で1,939人(転入9,747人,転出7,808人)、それぞれ増加した。昨年6月1日現在と比較すると、数で

25,895人、率で0.94%の増加である。

市町村別では、増加が17市40町村、減少が3市26町村、増減なしが2村である。

世帯数についても、2,019世帯増加して、793,160世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (5月)

1. 平均賃金の推移

5月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は249,016円で前月に比べ1.1%増(前年同月比4.6%増)であった。

このうちきまって支給する給与は243,843円で前月に比べ0.1%増(前年同月比4.6%増)であり、特別に支払われた給与は5,173円で前年同月に比べ2,473円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は171.2時間で、前月に比べ8.7%減(前年同月比0.4%減)であった。

このうち所定内労働時間数は153.4時間で、前月に比べ9.1%減(前年同月比2.3%減)であり、所定外労働時間数は17.8時間で、前月に比べ5.8%減(前年同月比19.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると107.6で、増減率は前月に比べもちあい、前年同月に比べ1.0%増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (5月分)

本県における昭和63年5月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が110.7、出荷が110.9、在庫が94.2で前月比は、生産が△3.0%の低下、出荷が△3.6%の低下、在庫が1.4%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が9.9%の上昇、出荷が6.3%の上昇、在庫が△3.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉄鋼業、輸送機械工業、精密機械工業等が上昇し、鉱業、非鉄金属工業、電気機械工業等が低下した。出荷では、その他工業、石油・

石炭製品工業、輸送機械工業等が上昇し、鉱業、非鉄金属工業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、鉱業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、電気機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、建設財が上昇し、資本財、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。出荷では、その他用生産財が上昇し、建設財、耐久消費財、資本財等が低下した。在庫では、その他用生産財、建設財、資本財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数 (5月)

昭和63年5月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.5(昭和60年=100)となり、前月比△0.1%の下落、前年同月比△0.3%の下落となった。

今月上がった主な項目……果物10.9%、衣料4.3%、シャツ・下着1.4%、家庭用耐久財0.6%

今月下がった主な項目……野菜・海藻△9.9%、乳卵類△2.7%、魚介類△1.4%、油脂・調味料△1.0%

生鮮食品を除く総合は101.0となり前月比0.2%の上昇、前年同月比は変わらなかった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.5	△0.1	△0.3	保 健 医 療	102.9	0.1	0.0
食 料	98.5	△0.9	△0.9	交 通 通 信	99.9	△0.2	△1.3
住 居	107.2	0.1	2.7	教 育	113.2	0.2	2.8
光熱・水道	88.0	△0.1	△2.0	教 養 娯 楽	101.9	0.0	0.3
家具・家事用品	99.5	0.5	0.2	諸 雑 費	102.9	0.0	0.0
被服及び履物	104.7	2.3	0.0	生鮮食品を除く総合	101.0	0.2	0.0